

自由民主党衆議院議員【埼玉 3 区（越谷市・草加市）】

～法務委員会の活動から～

安心・安全なまちづくりは国と地域の連携が必要 きかわだひとし 黄川田仁志

特集 地域ぐるみの防犯体制を整えることが急務

※きかわだひとしを応援する会 入会のご案内など

きかわだステーション

第 20 号

衆議院議員黄川田仁志事務所発行 電話 048-933-0591



地域の皆様と共に

自立と誇りある
日本をつくります

～安心・安全なまちづくりは国と地域の連携が必要～

自由民主党衆議院議員の黄川田仁志です。

日本は他国と比べて治安が良いと言われています。しかし、テレビや新聞で毎日のように報道される凶悪事件を見ると、「世界一安全な国・日本」では無くなってしまった…との実感を持たれている方も多いのではないのでしょうか。自立と誇りある日本をつくるに際し、このことは由々しき事態です。

そのような中、昨今、日本中の地域で、安心・安全なまちづくりが積極的に進められています。越谷市・草加市でも、市役所はもちろん、地域の皆様がボランティアで、様々な活動に取り組まれています。

私たちの日常生活の中で、安心・安全に関わる重要な施策と言えば、「防犯力の高いまちづくり」ではないでしょうか。治安の良い地域に住みたいのは、誰しも同じだからです。

地域の治安を守るために、特に大切なことは「再犯防止」であると私は考えます。かつて罪を犯し刑に服したことのある人が、刑務所を出てから、再度罪を犯してしまうことを防ぐこと、さらには、非行防止対策も含まれます。

法務省が作成している平成 24 年版犯罪白書によると、一般刑法犯として検挙された人のうち、再犯者が占める割合は、平成 23 年時で、43.8%であり、9 年連続で上昇しています。

特に、近年、再犯者を取り巻く環境が、薬物依存、高齢化、障がい者である等、多様化していることが大きく影響しています。もともと社会に居場所がなく、孤立し、出所しても、再度犯罪を起こしてしまうケースが多いのです。

では「再犯防止」のためには、どのような取り組みが必要なのでしょうか？

まず、治安を守る活動と言えば警察があります。しかし、警察の主な仕事は、犯罪が起こってからの対処になります。もう一つ、裏面で特集していますが、「再犯防止」の大きな戦力として、法務省が任命している、無償ボランティアの保護司さんがいます。保護司さんは、刑務所を出て保護観察を受けている人に、指導や助言を行う他、地域で犯罪や非行を予防するための啓発活動を行っています。

しかし、警察や保護司さんの活動だけで、「再犯防止」することは、今の日本では非常に困難なのです。実際、再犯率が上昇しているのは先に述べたとおりです。

これから地域の治安を守るためには、従前の治安対策とまちづくり活動が積極的に連携し、「人との関わり」を通じて、多様化する再犯原因に太刀打ちすることが重要です。特に、自治体、福祉団体、NPO、自治組織等、まちづくりに関わる国以外の専門性を持った組織との連携が欠かせません。そのために、国は、従来から行っている再犯防止政策だけでなく、地域の防犯活動への人的、財政的支援を積極的に行う必要があると思います。

ひとつひとつの地域が安心安全なまちになれば、日本は改めて世界一治安の良い国になります。このことを、私が所属しています、国会の法務委員会を通じて、しっかりと訴えていきたいと思っています。

平成 25 年 4 月吉日 自由民主党衆議院議員

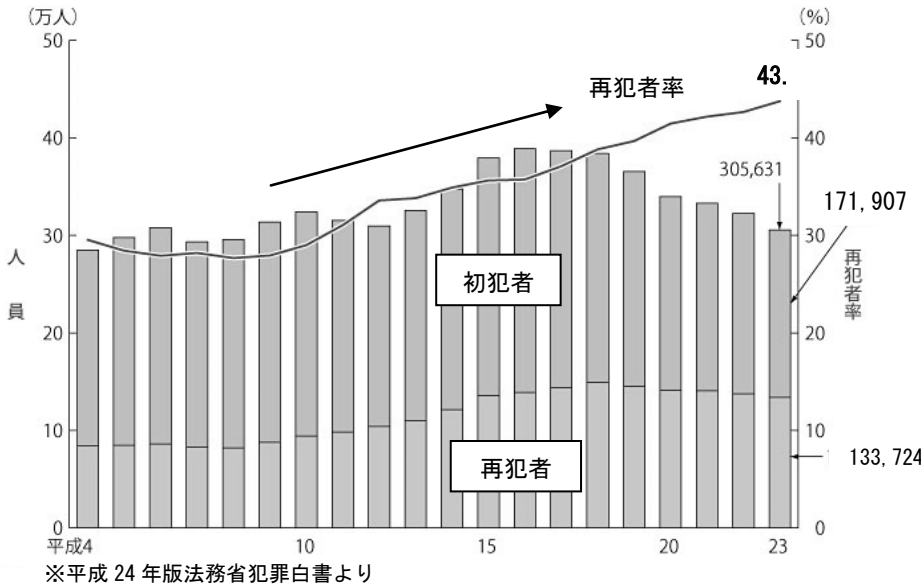
黄川田仁志

地域ぐるみの防犯体制を整えることが急務

◎再犯者率の上昇とその特徴

表面でも紹介したとおり、現在の日本では、一般刑法犯により検挙される再犯者の占める割合は、平成9年から一貫して上昇し続けています。そのうち、前に検挙されたものと同じ罪名で再度検挙されている比率が高いのは、覚せい剤取締法違反、傷害、窃盗です。さらに再犯者の特徴として、①少年期に何らかの保護処分を受けた20歳代の若年者の再犯率が高いこと、②高齢者の検挙人員が著しく増加していること、③知的障がい者を含む精神障がい者及び精神障がいの疑いのある人の割合が年々増加していること、④女性の入所受刑者が上昇していること、⑤暴力団関係入所受刑者の再入所率が高いことが挙げられます。

一般刑法犯検挙人員のうち再犯者人員・再犯者率の推移【H4～23年】



◎「人との関わり」を増やす新再犯防止策

再犯者の特徴に共通していることは、犯罪をおこす前から、刑に服し刑務所等を出所した後も、人との関わりが少なく、孤独であるということです。これは、犯罪に限らず、日本社会全体の問題でもあります。罪を犯す人たちを取り巻く環境では、特に顕著です。例えば、刑務所等を出所しても仕事がない、帰る家がない、家族がいないなどです。

地域の治安を守るには、このような再犯者を少しでも減らすための取り組みが必要となります。そこで、現在も活躍しているのが「保護司」さんです。保護司さんは、法務省の保護観察官と協力しながら、仮釈放等により保護観察となった人たちと直接面談し、社会復帰の支援、指導を行っています。保護司さんは、法務大臣から委嘱を受けたボランティアの方たちです。

実際に、保護司の皆さんが関わった出所者の方の再犯率は、そうでない出所者と比較して低いことが、法務省の調査で明らかとなっています。しかし、保護司さんは無償ボランティアであるにも関わらず、先に述べたような難しい保護観察等の対象者が増加し、大変な役割を担っています。そのこともあって、近年では、保護司の担い手を見つけることが難しくなっています。

このような状況を改善するために、保護観察等の保護司さんを通じて国が直接行ってきた再犯防止策に、自治体や福祉団体、NPO等にも、積極的に協力・連携してもらい、地域ぐるみで総合的な防犯活動ができる体制を整えることがより大切です。そのためには、法務省と他省庁との積極的な連携、情報交換が必要です。今までの霞が関の縦割り主義では、安心安全なまちづくりを進めることができません。また、国と自治体の連携も不可欠です。私、黄川田仁志は、このことについて、今国会の法務委員会を通じて、積極的に提案して参ります。

～一緒に日本の政治を考え、行動してみませんか？～

きかわだひとしを応援する会（後援会）入会のご案内

きかわだひとしの政治理念及び活動に共感し、応援していただける方を募集しております。越谷市または草加市にお住まいの方なら、どなたでもご入会いただけます。入会金・年会費は不要です。会員の皆様には、活動報告等をお届けします。入会を希望される方は、恐れ入りますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



一緒に「自立」と「誇り」ある日本を創ろう！ **きかわだひとしを応援する会**

〒340-0052 埼玉県草加市金明町1-1 中野マンション102 Tel 048-933-0591 Fax 048-933-0597

Mail : info@kikawadahitoshi.jp HP : <http://www.kikawadahitoshi.jp>

Blog : <http://ameblo.jp/kikawadahitoshi/> (Ameba 政治家ブログ)

ボランティア大歓迎

きかわだひとしの活動をお手伝いいただける方を募集しております。上記までご連絡願います。

カンパ募集しております！

サラリーマン出身のきかわだひとしの政治活動拡大に向け、皆様からの温かいカンパを募集しております。

きかわだひとしとは？…自民党衆議院議員。東京理科大卒、米メリーランド大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和45年生まれ。趣味は剣道・空手・スキューバダイビング・野球・落語